

波々伯部神社の文化財

京都府立大学大学院文学研究科
史学専攻博士前期課程 1回生
山崎 祐紀子

はじめに

本稿では、2014年9月2日から4日におこなわれたフィールド研修において、波々伯部神社の祭礼について調査した上中報告に関連して、波々伯部神社の文化財について紹介する。上中報告が扱う波々伯部神社の本祭であるおやま行事は、国と県からそれぞれ指定無形民俗文化財に選定されており、その祭礼で用いられる人形は、兵庫県により有形民俗文化財に選定されている¹。また、祭礼に関するもの以外では、「波々伯部神社の青銅鳥居」、「波々伯部神社の障壁画」、「薬師三尊懸仏」が篠山市により有形文化財に指定されている²。本稿では、これら有形文化財を紹介する。なお、波々伯部神社の祭礼や概要については上中報告を参照いただきたい。

1 鳥居、常夜灯、狛犬

まず、篠山市より有形文化財に指定されている波々伯部神社の鳥居について紹介する。参道の入り口に設置されている青銅製の鳥居には、室町時代末期の延徳2年(1490)の銘がある。左右の柱には「武運長久 庶民安穩」「天下泰平 五穀成就」と刻まれており、江戸時代末期に修理が施されているものの、その古さから極めて貴重なものとされる³。

また、その手前の両脇には狛犬と常夜灯が設置されている。神社の記録によれば、狛犬は昭和19年(1944)に供出されたため、現在は石造りである。台には「嘉永五年壬子」銘があるが、これは供出前のものがそのままになっているためと思われる。また、常夜塔

については、正面に「御神燈」、側面に「獻主宮年寄中」、背面に「宝曆九^{己卯}歳」という銘がある。

そのほか境内には元禄10年(1697)と文化9年(1812)の常夜灯、元禄5年(1692)の手水鉢、明治16年(1883)の筆子塚などがある。

2 障壁画

次に障壁画についてである。波々伯部神社の社務所の上段の間、奥の間、中の間、玄関の間の4室に、36面の襖絵が残されている⁴。このなかには、江戸時代に活躍した丸山応挙の孫弟子にあたる、長沢蘆州によって描かれたものがある。宮司である近松氏のお話によれば、三国志の一場面を描いた絵には、丸山応挙の画法が用いられているが、昔の人がもたれかかっていたことで、一部が消えてしまったという。現在もなお、傷んでしまうことが残念でならないが、どうしようもないとのことである。

また、雁を描いた絵には白地のままの月のまわりには夕靄があり、不思議なことに、2羽の雁とはどこから見ても目が合うという。また、この絵には「蘆州」としか書いていないが、姫路の応挙寺にあるという同様の絵には長沢蘆州と書いてあることから、近松氏は蘆州が「長沢」の姓を名乗るのを許されなかった修行の時代に、波々伯部に立ち寄った際描いたものであると近松氏は考えている。

3 薬師三尊懸仏

薬師如来、月光菩薩、日光菩薩の3体があ



写真1 薬師如来像



写真2 波多野秀治公筆掛軸

る（写真1）。近松氏によれば、明智光秀によって八上城が攻められた際、寺役人によって城外に持ちだされ、後に波々伯部一族によって奉納されたという。薬師如来懸仏の裏面には「奉懸牛頭天王本地薬師如来 尊形一体奉造立者也然者 現世安穩息災延命増長 福樂後生者喜所生者也 願主妙光比丘尼 永正十四年⁵ 丙丑二月吉日」という墨書がある。

市の文化財に指定されており、以前は篠山市立歴史美術館⁶に管理をお願いしていたが返却された。現在はネズミ除けのため、社務所内のガラスケースに入れられているという、あまり良いとはいえない保管状況である。なお、薬師三尊懸仏と波多野秀治公筆掛軸は多紀文化顕彰会より昭和26年（1951）に名宝指定を受けている。

4 波多野秀治公筆掛軸

八上城城主波多野秀治が、明智光秀によって攻められた際、落城の前に神社にささげた願文（写真2）。波多野秀治が神楽を寄進し、祈祷を依頼する内容であると思われる。近松氏によれば、昭和22年（1947）に辻の篤志家によって奉納されたという。

文書を保存してある杉製の箱が湿気のためたいへん開きづらくなっていた。文書自体の傷みも激しく、保存状態も良いとはいえない。

5 欄間彫刻の龍

近松氏のお話によれば、社務所内の欄間彫

刻の龍は両面彫りになっており、表と裏で別の龍が彫ってあるという。日光東照宮の彫刻を担当した中井権次一族の作であるとのことであり、以前は天井から竹でつるしてあったが、補修の際に強度のある鉄を用いてつりなおされた。

6 御符（神札・お守り・御符）

宮司の近松氏よりいただいた「御符（神札・お守り・御符）について」という資料をもとに、波々伯部神社の御符の一覧表を作成した（表1）。ここでは、波々伯部神社特有のおひねり（笹守り）とふじたい（藤・鯛）について紹介する。

まず、おひねり（笹守り）についてである。波々伯部神社の祭神であるスサノオノミコトは、災難疫病を払う強い神で、厄を除き、安全を守る神として信仰が厚い。長旅で疲れ、困っていたスサノオノミコトに、貧しい蘇民将来が親切に食べ物と宿を提供したところ、その一族と子孫は疫病・災難から逃れ、栄えることになったという故事がある。この故事から、波々伯部神社の祇園祭に参加する氏子は、「蘇民将来」と書いた守り札を腰につけることになっており、この守り札をこよりで笹の形にしたものがおひねりである。近松氏によれば、そのほかに登山に行く人が持っていったり、ひとりで何本も買っていったりする人もいるという。また、一般の人には白色のものを渡すことから、色つきのおひねりは氏子の証明にもなるという。8月の調査の際、



写真3 向井家のおひねり



写真4 ふじたい

表1 波々伯部神社の御符

	名称	形態	願意	備考
1	伊勢神宮大麻	聖衣つき封書形御符 「天照皇大神宮」	国家安穩	毎年正月、惣代を通じお分けする。
2	波々伯部大神御璽	折紙形金帯付御符 (神棚用)	諸願成就	
3	波々伯部神社	封書形御符 (神棚用)	諸願成就	
4	波々伯部大神	剣先折紙形玉串入御符 (小型神殿用)	諸願成就	
5	波々伯部神社御符	短冊形御符 (門口用) (床柱用)	諸願成就	現在、貼る家は少なくなった。
6	おひねり (蘇民将来神話印刷)	コヨリ形神札	旅行安全・ 道中安全・ 世間安穩	京都の八坂神社系祇園社独特のもの。 本文参照。
7	波々伯部神社御符 (神紋付小形御神 体符)	懐中常時携帯用	諸願成就	
8	交通安全・安産・ 学業成就・家内安 全・無病息災お守 り	腰下げ形袋入りひも付 携帯用神札	(省略)	袋は西陣織。
9	ふじたい (藤・鯛)	半紙形絵画神札 (門口用)	疫病退散・ 除災招福	宮年寄調製のもので、波々伯部神社最 古の神札。
10	ふくろう・かえる お守り	ストラップ付携帯神札	長寿・知恵 (ふくろう)、 安穩 (かえ る)	京都井筒神祭具店製作。
11	波々伯部神社	縁起物形「吉兆」神札	安穩無事	

向井家で見せていただいたおひねりは、昔からのものが集められ、100本以上の束になっていたが、新しい家にはこのような束はなく、祭りの終了後は玄関先に結んだりしているとのことである（写真3）。

次にふじたい（藤・鯛）についてである。これは、宮年寄によって描かれる波々伯部神社最古の神札である（写真4）。顔料には、でくのぼうを書いた残りが用いられていた。「萬 最悪 封じ たい」という言葉の「封じたい」をもじって生まれたふじ（藤）とたい（鯛）の絵を飾り、万の災いから逃れられることを願うおまじないである。8月の事前調査の際など、玄関口に飾ってある家が軒か見受けられた。

おわりに

以上、実地調査や宮司の近松氏への聞き取り調査をもとに、波々伯部神社の文化財について紹介してきた。調査全体を通じて、襖絵や仏像、文書などの文化財が傷んでいくことを残念そうにしておられた近松氏の語りが印象に残っている。

また、聞き取り調査の最後に、近松氏は、法律が支配する社会に宮や寺は合致せず、変化しなくてはいけない時代となったと語っておられた。信教の自由に基づく政教分離の原則により、基本的に行政は神社の運営に関わることができず、神事に関しても微妙な運営を要するようになったという。文化を文化として未来に残していくことが必要であり、それを可能にする取り組みを検討し、実現することが求められているといえる。

【謝辞】

今回の調査では、波々伯部神社の宮司である近松健一様と財様、また8月の事前調査では、向井佑介様とそのご家族の方々にたいへんお世話になりました。記して感謝申し上げます。ありがとうございました。

【注】

- 1 国からは「波々伯部神社のおやま行事」、県からは「波々伯部神社のおやまの神事」として無形民俗文化財にそれぞれ登録されている。なお、人形は「波々伯部神社の祭礼操り人形」として登録されている。
「国選択無形民俗文化財 波々伯部神社のおやま行事」<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/shakaikyoiku/culture/post-82.html> (2015年2月2日最終閲覧)
「篠山市の文化財 県指定文化財」<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/shakaikyoiku/culture/post-13.html> (2015年2月2日最終閲覧)
- 2 「篠山市の文化財 市指定文化財」<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/shakaikyoiku/culture/post-14.html> (2015年2月2日最終閲覧)
- 3 「波々伯部神社の青銅鳥居」<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/rekishi/bunkazai/ken13.html> (2015年2月2日最終閲覧)
- 4 「波々伯部神社の障壁画」<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/shakaikyoiku/assets/2013/01/0034.pdf> (2015年2月2日最終閲覧)
- 5 1517年
- 6 当時は篠山町歴史美術館。